



Cisco Unified MeetingPlace Express システムへのライセンスのインストール と管理

改訂：2006年10月18日、OL-12185-01-J

この項の内容は、次のとおりです。

- [ライセンスに関する制限 \(P. 3-2\)](#)
- [ライセンスについて \(P. 3-3\)](#)
- [ライセンスのインストールと管理の方法 \(P. 3-7\)](#)

この章の内容は、次の両製品に適用されます。

- Cisco Unified MeetingPlace Express：スケジュールされた会議、予約不要の音声会議、Web 会議用
- Cisco Unified MeetingPlace Express VT：アドホックの音声会議、ビデオ会議、Web 会議用

ライセンスに関する制限

[adhocsystemsoftware](#) ライセンスと [systemsoftware](#) ライセンスの両方を同じシステムにインストールすることはできません。

たとえば、[adhocsystemsoftware](#) ライセンスをシステムにインストールするとします。その後で、[systemsoftware](#) ライセンスが含まれている新しいライセンス ファイルをインストールする場合は、インストール オプション [Upload new license file](#) を選択する必要があります。これによって、すでにインストールされているライセンスがすべて削除されてから新しいライセンス ファイルがインストールされます。

この制限の意味は、アドホック会議用と、スケジュールされた会議および予約不要の会議用のいずれか一方にしかシステムを使用できないということです。ただし、システムには少数のデフォルトのポートがあらかじめ用意されており、ライセンスを取得していない機能を試すときに使用できます。

関連項目

- [ライセンスについて \(P. 3-3\)](#)
- [アドホック会議についての情報 \(P. 6-3\)](#)
- [スケジュールされた会議に関する情報 \(P. 5-3\)](#)
- [予約不要の会議についての情報 \(P. 5-7\)](#)

ライセンスについて

ライセンスとは、特定の機能をシステムで利用できるようにするためのものです。Cisco Unified MeetingPlace Express 発注とともにライセンス SKU を購入し、その発注に対応するライセンス ファイルをインストールすると、購入した機能が使用可能になります。追加ライセンスを購入およびインストールして、システムをアップグレードすることも可能です。

表 3-1 は、Cisco Unified MeetingPlace Express および Cisco Unified MeetingPlace Express VT に適用されるライセンスの一覧です。

表 3-1 適用されるライセンス

Cisco Unified MeetingPlace Express の ライセンス	Cisco Unified MeetingPlace Express VT の ライセンス
<ul style="list-style-type: none"> • exchange • languages • maxvoice • maxweb • systemsoftware • voiceconf • webconf 	<ul style="list-style-type: none"> • adhocsystemsoftware • maxadhoc • stdvideoconf • webconf

表 3-2 は、取得可能なすべてのライセンス（アルファベット順）の説明です。

表 3-2 Cisco Unified MeetingPlace Express のライセンス

ライセンス	説明
adhocsystemsoftware	<p>adhocsystemsoftware ライセンスをインストールすると、アドホック会議のためのライセンス stdvideoconf、webconf、および maxadhoc をシステムで使用できるようになります。</p> <p>adhocsystemsoftware ライセンスをインストールしない場合、このシステムでアドホック会議に使用できるのはデフォルトの 6 個の音声ポート、6 個のビデオポート、および 6 個の Web ポートだけとなります。デフォルトの 6 個の Web ポートの有効期間はシステムインストール後 60 日間ですが、webconf ライセンスをインストールすれば引き続き使用できます。</p> <p>制約事項：systemsoftware ライセンスと adhocsystemsoftware ライセンスの両方を同じサーバにインストールすることはできません。詳細は、「ライセンスに関する制限」(P. 3-2) を参照してください。</p>
exchange	<p>exchange ライセンスをインストールすると、Cisco Unified MeetingPlace Express システムと Microsoft Exchange Server を統合できるようになります。このようにすると、ユーザが Microsoft Outlook の予定表から会議のスケジュール作成と管理を行うことや、Microsoft Outlook 予定表通知の送受信を行うことが可能になります。</p> <p>exchange ライセンスをインストールしない場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express と Microsoft Outlook を統合することはできません。これには 1 つ例外があり、systemsoftware ライセンスがインストールされていない場合は、試用およびデモンストレーションを目的として Microsoft Outlook の機能を使用できます。</p>
languages	<p>languages ライセンスをインストールすると、サポートされる言語を 4 つまで同時に同じシステム上で使用できるようになります。</p> <p>languages ライセンスをインストールしない場合は、使用可能にできる言語は 1 つだけです。</p>

表 3-2 Cisco Unified MeetingPlace Express のライセンス (続き)

ライセンス	説明
maxadhoc	<p>maxadhoc ライセンスにより、アドホック音声会議に同時に参加できる人数を制限します。</p> <p>maxadhoc ライセンスをインストールしない場合、このシステムでアドホック会議に使用できるのはデフォルトの 6 個の音声ポートだけとなります。</p> <p>maxadhoc ライセンスにより、このシステムでのアドホック会議に使用できるビデオポートと Web ポートの数も制限されます。stdvideoconf または webconf のライセンスのポート数が maxadhoc ライセンスのポート数よりも多い場合は、maxadhoc ライセンスで指定されているポート数が使用されます。</p> <p>このシステムでの maxadhoc ライセンスによる制限は、[Licenses Summary] ページの [Comment] フィールドに表示されます。管理センターのこのページへのアクセス方法は、「ライセンスの表示」(P. 3-9) を参照してください。</p>
maxvoice	<p>maxvoice ライセンスにより、このシステムでのスケジュールされた会議および予約不要の会議に使用可能な音声ポートの数を制限します。たとえば、voiceconf ライセンスのポート数が maxvoice ライセンスのポート数よりも多い場合は、maxvoice ライセンスで指定されているポート数が使用されます。</p> <p>このシステムでの maxvoice ライセンスによる制限は、[Licenses Summary] ページの [Comment] フィールドに表示されます。管理センターのこのページへのアクセス方法は、「ライセンスの表示」(P. 3-9) を参照してください。</p> <p>制約事項：新たに購入した maxvoice ライセンスをインストールすると、古いライセンスが上書きされます。新しいポート数が以前のポート数に加算されるものではありません。</p>
maxweb	<p>maxweb ライセンスにより、このシステムでのスケジュールされた会議および予約不要の会議に使用可能な Web ポートの数を制限します。たとえば、webconf ライセンスのポート数が maxweb ライセンスのポート数よりも多い場合は、maxweb ライセンスで指定されているポート数が使用されます。</p> <p>このシステムでの maxweb ライセンスによる制限は、[Licenses Summary] ページの [Comment] フィールドに表示されます。管理センターのこのページへのアクセス方法は、「ライセンスの表示」(P. 3-9) を参照してください。</p> <p>制約事項：新たに購入した maxweb ライセンスをインストールすると、古いライセンスが上書きされます。新しいポート数が以前のポート数に加算されるものではありません。</p>
stdvideoconf	<p>stdvideoconf ライセンスにより、アドホックビデオ会議に同時に参加できる人数を制限します。この数は、maxadhoc ライセンスによってさらに制限されます。</p> <p>stdvideoconf ライセンスをインストールしない場合、このシステムでアドホック会議に使用できるのはデフォルトの 6 個のビデオポートだけとなります。</p> <p>システムで使用可能なアドホックビデオポートの実際の数、Video maximum bit rate の設定によって決まります。「アドホック会議用のビデオポートについて」(P. 6-4) を参照してください。</p> <p>制約事項：アドホックビデオライセンスのうち、アドホック音声ライセンスの総数を超える分は使用できません。</p>

表 3-2 Cisco Unified MeetingPlace Express のライセンス (続き)

ライセンス	説明
systemsoftware	<p>systemsoftware ライセンスをインストールすると、このシステムでのスケジュールされた会議および予約不要の会議に対して voiceconf ライセンスと webconf ライセンスを使用できるようになります。</p> <p>systemsoftware ライセンスをインストールしない場合、またはライセンスのバージョンが最新ではなくなった場合は、このシステムでのスケジュールされた会議および予約不要の会議に対して使用できるのはデフォルトの 6 個の音声ポートおよび 6 個の Web ポートだけとなります。デフォルトの 6 個の Web ポートの有効期間はシステム インストール後 60 日間ですが、webconf ライセンスをインストールすれば引き続き使用できます (webconf ライセンスがインストールされ、systemsoftware ライセンスがインストールされていない場合は、デフォルトの 6 個の Web ポートが有効期限切れになることはありません)。</p> <p>要件：</p> <ul style="list-style-type: none"> • systemsoftware ライセンスを取得するには、ベース ソフトウェア SKU またはソフトウェアバージョン アップグレードを購入してください。キャパシティまたはプラットフォーム アップグレードを購入しても、systemsoftware ライセンスは取得できません。 • systemsoftware ライセンスで指定されているバージョン番号は、インストールされているソフトウェアのバージョン番号の先頭の桁と等しいか、それより大きいものでなければなりません。 <p>制約事項：systemsoftware ライセンスと adhocsystemsoftware ライセンスの両方を同じサーバにインストールすることはできません。詳細は、「ライセンスに関する制限」(P. 3-2)を参照してください。</p>
voiceconf	<p>voiceconf ライセンスにより、スケジュールされた会議および予約不要の会議で同時に使用される音声ポートの数を制限します。これには、以下のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • システムへのコール、およびシステムからのコール • 会議の音声参加者 <p>使用可能な音声ポートの数は、さらに maxvoice ライセンスによって制限されます。</p> <p>voiceconf ライセンスをインストールしない場合、このシステムでスケジュールされた会議および予約不要の会議に使用できるのはデフォルトの 6 個の音声ポートだけとなります。</p> <p>要件：システムで、スケジュールされた会議および予約不要の会議に対して voiceconf ライセンスが使用されるようにするには、systemsoftware ライセンスをインストールする必要があります。</p>

表 3-2 Cisco Unified MeetingPlace Express のライセンス (続き)

ライセンス	説明
webconf	<p>webconf ライセンスにより、次のどちらのライセンスがインストールされているかに応じて、アドホック会議またはスケジュールされた会議および予約不要の会議で同時に使用される Web ポートの数を制限します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • adhocsystemsoftware ライセンスがインストールされている場合は、webconf ライセンスによって、このシステムで使用可能なアドホック Web ポートの数が制限されます。この数は、さらに maxadhoc ライセンスによって制限されます。 • systemsoftware ライセンスがインストールされている場合は、webconf ライセンスによって、スケジュールされた会議または予約不要の会議でフル Web 会議室を使用して同時に参加する参加者の数が制限されます。この数は、さらに maxweb ライセンスによって制限されます。 <p> (注) すべてのユーザ、あるいは多数のユーザがフル Web 会議のスケジュールを作成できるようにするには、voiceconf ライセンスおよび webconf ライセンスを通して同じ数の音声ポートと Web ポートをインストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • adhocsystemsoftware ライセンスと systemsoftware ライセンスのどちらもインストールしない場合は、webconf ライセンスをインストールすることによって、デフォルトの 6 個の Web ポートが引き続き使用可能になります。 <p>webconf ライセンスをインストールしない場合、このシステムで使用できるのはデフォルトの 6 個の Web ポートだけとなり、システムインストールの 60 日後に有効期限が切れます。</p> <p>ベース ソフトウェア SKU を購入すると、無料の webconf ライセンスが 1 件付属しています。このライセンスをインストールすると、デフォルトの 6 個の Web ポートが引き続き使用可能になります。</p>

関連項目

- [ライセンスに関する制限 \(P. 3-2\)](#)
- [ライセンスのインストールと管理の方法](#)
- [スケジュールされた会議および予約不要の会議のポートについての情報](#)
- [アドホック会議についての情報 \(P. 6-3\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express と Microsoft Outlook との統合 \(P. B-1\)](#)

ライセンスのインストールと管理の方法

Cisco Unified MeetingPlace Express の発注とともにライセンス SKU を購入した場合は、Product Authorization Key (PAK) が1つ付属しています。ライセンス ファイルを取得するには、PAK とサーバの MAC アドレスを、Cisco.com 上の所定のフォームで提出します。このライセンス ファイルを、管理センターを使用して Cisco Unified MeetingPlace Express にアップロードすると、その発注で購入したすべてのライセンスがインストールされます。



(注)

新しいライセンスはすぐに有効になります。ライセンスを追加するときに、Cisco Unified MeetingPlace Express のオペレーティング システムやアプリケーションの再インストールや再起動を行う必要はありません。

この項の内容は、次のとおりです。

- システムの MAC アドレスの確認 (P. 3-7)
- ライセンス ファイルの取得 (P. 3-8)
- ライセンス ファイルのインストール (P. 3-8)
- ライセンスの表示 (P. 3-9)
- ライセンスのダウンロード (P. 3-10)

システムの MAC アドレスの確認

この項では、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの MAC アドレスを調べる方法を説明します。MAC アドレスは、ライセンス ファイルを取得するために必要です。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションを開きます。

ステップ 2 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 3 ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ 4 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
- b. [Licenses] をクリックします。
- c. [Install Licenses] をクリックします。

MAC アドレスは、[Host ID (MAC address)] フィールドに表示されます。

ステップ 5 「ライセンス ファイルの取得」 (P. 3-8) に進みます。

関連項目

- ライセンスのインストールと管理の方法 (P. 3-7)
- ライセンスについて (P. 3-3)

- 概要 : ライセンスのインストール (P. C-95)

ライセンス ファイルの取得

この項では、ライセンス ファイルの取得方法を説明します。ライセンス ファイルには、発注とともに購入されたすべてのライセンスが記録されています。

始める前に

- 発注した製品に付属している Product Authorization Key (PAK) を確認します。
- Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの MAC アドレスを確認します。「システムの MAC アドレスの確認」(P. 3-7) を参照してください。

手順

ステップ 1 <http://www.cisco.com/go/license> にアクセスします。

ステップ 2 ログイン画面が表示されたら、ユーザ ID とパスワードを使用して Cisco.com にログインします。

ステップ 3 発注した Cisco Unified MeetingPlace Express の PAK を入力します。

ステップ 4 発注情報を確認して [Continue] をクリックします。

ステップ 5 登録フォームのすべての必須フィールドに入力します。次の点に注意してください。

- 電子メール アドレスが正しいことを確認してください。ライセンス ファイルは電子メールで送信されます。
- Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの MAC アドレスを入力します。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。

シスコシステムズから、ライセンス ファイルが電子メールで送信されます。

ステップ 7 管理センターからアクセス可能な場所に、ライセンス ファイルを保存します。

ステップ 8 「ライセンス ファイルのインストール」(P. 3-8) に進みます。

関連項目

- ライセンスのインストールと管理の方法 (P. 3-7)
- ライセンスについて (P. 3-3)

ライセンス ファイルのインストール

この項では、ライセンス ファイルをアップロードする方法を説明します。ライセンス ファイルには、Cisco Unified MeetingPlace Express 発注とともに購入されたすべてのライセンスが記録されています。

始める前に

ライセンス ファイルを取得します。「ライセンス ファイルの取得」(P. 3-8) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
- ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
- [Maintenance] をクリックします。
 - [Licenses] をクリックします。
 - [Install Licenses] をクリックします。
- ステップ 4** 次のオプション ボタンのいずれかを選択します。
- Upload new license file** : ライセンス ファイルをインストールする前にインストール済みのライセンスをすべて削除することを指定します。このオプションは、システムにライセンスを初めてアップロードするとき、またはライセンス セット全体をインストールし直すような不測の事態が生じたときのみ選択してください。
 - Append incremental license file** : インストール済みのライセンスをすべて保持し、ライセンス ファイルからのライセンスを追加することを指定します。
- ステップ 5** 完全修飾ファイル名を [License file to use] フィールドに入力するか、[Browse] をクリックしてファイルを検索します。
- ステップ 6** [Install License] をクリックします。
- ステップ 7** (オプション) ライセンスがインストールされたことを確認するために、「[ライセンスの表示](#)」(P. 3-9) に進みます。
-

関連項目

- [ライセンスのインストールと管理の方法](#) (P. 3-7)
- [ライセンスについて](#) (P. 3-3)
- [概要 : ライセンスのインストール](#) (P. C-95)

ライセンスの表示

システムにインストールされているライセンスの数とタイプ、有効になっているライセンス、およびこのシステムに適用されるライセンス制限がある場合はその内容を表示します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
- ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ 3 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
 - b. [Licenses] をクリックします。
 - c. [Licenses Summary] をクリックします。
-

関連項目

- [概要：ライセンスのインストール \(P. C-95\)](#)
- [ライセンスについて \(P. 3-3\)](#)

ライセンスのダウンロード

バックアップ用にライセンスをダウンロードします。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。

ステップ 2 ページの上部にある [管理] をクリックします。

ステップ 3 ページの左側で次の操作を実行します。

- a. [Maintenance] をクリックします。
- b. [Licenses] をクリックします。
- c. [Licenses Summary] または [Install Licenses] をクリックします。

ステップ 4 [Download License] をクリックします。

ステップ 5 [ファイルのダウンロード] ダイアログ ボックスの [Save] をクリックします。

ステップ 6 [Save As] ダイアログ ボックスで、エクスポートしたファイルの保存先ディレクトリを選択します。

ステップ 7 [Save] をクリックします。

ステップ 8 [Download Complete] ダイアログ ボックスが表示されたら、[Close] をクリックします。

関連項目

- [ライセンスについて \(P. 3-3\)](#)